

ボランティア研修プログラム

～異文化理解・心のバリアフリーを進めるワークショップ～

研修プログラムのねらい

- 2020年東京大会で実現したい地域のレガシーは、**高齢者も若者も、障害のある人もない人も、言葉や文化の違いも関係なく、すべての人がお互いを尊重し合い、支え合う共生社会**。そのためにはホストタウンでの国際交流を、地域を多様性に開かれた社会に変え、活性化していくきっかけとすることが重要。
- 交流事業に参加するボランティアや市民を対象に、**外国人や障害者など異なる条件を持つ多様な人々とコミュニケーションをとる際に、知っておきたい知識や心の持ち方を学べるアニメーション教材**を作成し、公開中。
- 本教材を活用したワークショップは、**ボランティアや市民の交流に係るマインドセット形成**に効果が期待。

アニメーション教材（全40分程度）

- ✓ 「心のバリアフリーについて学ぼう」～メッセージ編～（10分程度）
- ✓ 異文化交流をしてみよう（3分程度のモジュール7本で構成）
 - ・ イントロダクション
 - ・ 日本人の習慣、私たちの町を紹介しよう
 - ・ 食事場面で
 - ・ 日本の文化、生活体験
 - ・ 買い物
 - ・ リスク管理
 - ・ 外国人と接する際の心構え
- ✓ 「バリア」とはなんだろう？（2分程度のモジュール6本で構成）
 - ・ 声かけが必要なのはどんなとき？
 - ・ 困っていることに気づいたら①
 - ・ 困っていることに気づいたら②
 - ・ コミュニケーションの取り方が分からないときは？
 - ・ 見慣れない状況に出会ったら
 - ・ 「障害」とは何だろう？



➤ 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局のWEBに掲載

URL:http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/udsuisin/volunteer.html

